



# ぼらんていあ通信

4月号  
通巻 No.509

発行/NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年4月23日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX:042-759-7982 Eメール:sagamiva@feelcnr.jp HPアドレス:https://sagamivanfo

## 第51回相模原市民桜まつり

### 市民パレードとバザーに参加!



#### 4月7日(日) 市民パレードに参加

4月6・7日に開催された今年の桜まつりは6年ぶり(コロナ禍で開催できず)とこのことで大層に喜びました。2日間とも先ず先ずの天候。満開の桜がまつりを盛り上げてくれた。春先の天候不順で開花が4月にずれ、市民桜まつりに合わせてくれた。

横山公園の桜と3色の花桃を愛でながら市役所通の方向だったが、上溝方面から来る人の多いこと。税務署の信号で10時になり「市役所桜通りは歩行者天国となり自転車は通行できません。屋台の準備の車もどかしてください」とアナウンスがあり、おまつり気分が盛り上がる。屋台の人たちは開店準備に大忙しの様子。あじさい会館や市役所前の歩道でいろいろな団体のPRイベントもいろいろパレード集合場所へ急ぐ。

加藤会長が先頭でボランティア協会と書かれたフラカドを持ち、後ろにハンディキャプ2台と車椅子1台、ボランティア募集の看板をかかげて、総勢15名くらいがオレンジ色のそこのパーカーを着て参加。パレード順は8番目でドッジボール、ラグビーフットボールの子どもが多数参加の団体の後ろ。市役所前から税務署交差点までの短い距離をゆっくりに行進。沿道は幾重にも人垣ができていた。この中にボランティア協会の活動に関心を持ってくれる人がいたらうれしい。

行進を終わり、それぞれの持ち場へ。焼きそばなどおいしそうなメニューの前はごも行列ができていた。いくつかのブースを見て、けやき体育館の福祉バザー会場へ向かった。

(三十尾)



#### バザー会場を訪問して

満開の桜の花のもと、今年は6年ぶりの桜まつりとして開催された。心配されたがお天気に恵まれる。

屋内外で様々な催し物が行われている中、障がい者団体や地域作業所などによる福祉バザーが6日(土)・7日(日)に開催。7日のお昼時、会場はは少し閑散としていたが屋外でパレードが行われている時間帯のせいかな? オープン時には行列ができていたと聞いた。

衣類、古本、手芸製品、食器、手作りのアクセサリー、作業所で作られた製品などが並べられ、各団体によりそれぞれ特徴のあるお作りがなされていた。あちこちの陳列台に空きが見られるが、きつと売れたのでしょね。

それぞれの場所で気になる製品を手取るお客様、自分の希望の品物を見つけ「これちょうだい」「これは何かしら」「これはOOに使用しますね」「そうですねえ、これじゃ生地代にもならないわね」などと、お客様と担当者の楽しそうな会話が聞こえてくる。この会話も大事な人と人との関りですね。

展示物の前に置かれた椅子でちよつとひと休みをする人もあり、ゆつたりとした空気が流れていた。午後から沢山のお客様が訪れてくれることを期待して帰ってきた。

お買い上げいただいたお客様、会場に足を運んでくださった方々、ありがとうございます。担当者の皆さんもお疲れさまでした。

(小山)

加藤会長もスタッフとして活躍



「傾聴ボランティア講座」第2回 第3回

傾聴講座 2日目

3月19日(火)に、傾聴ボランティア講座の第2回目が、あじさい会館6階で開催された。今回も寒い中沢山の参加者があり傾聴への関心の高さを感じる。

講師は前回と同じ荒木乳根子先生をお迎えした。前回の続きでカウンセリングの技法から、繰り返し、明確化、支持、自己開示、提案、助言を学ぶ。次は学んだことを踏まえて演習を行う。3人1組となり、話し手、聞き手、観察者の役割を決め、役割を交代しながら3セッション行う。

お互い初めて組むメンバーだが、穏やかに話すグループ、笑い声のあるグループ、話かなか進んでいないのかなと思われるグループがあった。1回目の経験と、先生のアドバイスを生かしてテーマを変えて2回目に入る。1回目と比べると、どのグループも熱心に話し込む様子が見られた。1回、2回と重ねる度に話し合いが活発になってきている。しっかりと聞いてもらっているという心地よさを感じているのではない。傾聴を学ぶという一生懸命さが伝わってくる。

最後に傾聴で気を付けたいこととして①あくまで相手が主体であることを忘れず②十足で踏み込まない③守秘義務として得た情報を友人、知人に話さない、など先生からアドバイスがあり2回目の講座が終了した。



参加者からのアンケートには、

★ディスプレイは難しかったけど、客観的に見られる部分がありよかったです。

★ロールプレイングでの3人3役繰り返して大変学びになりました。

★笑いがあり、楽しく学ぶことができました。少し時間が足りない気がしました。

など、沢山の意見があった。

今回の講座で学んだことを生かし、地域社会、介護福祉の場で傾聴を必要とされる場面役立てて活躍できますように。資料も、先生の講義も解りやすく、難しい内容にも拘わらず和やかな時間が過ぎていった。先生の優しく穏やかな雰囲気傾聴に関わられたらいいなと思った。ありがとうございました。

(小山)



傾聴講座 3日目(3月26日)

傾聴ボランティア講座も最終の第3日目は初日と同じく土砂降りの雨となったが、受講者は64人となり、第1回80人、第2回72人と合わせて216人となった。

まず、最初に認知症サポーター養成講座で、杉田久美子横山地域包括支援センター長、江口千草氏、作山麻寿美氏と岡西靖氏に来ていただいた。杉田センター長、作山専門員からは、認知症とは脳に何らかの病的な変化が起こり、老化では起こりえない「物忘れ」など、生活にも支障が生じる状態となり、2025年には全国で5人に1人の高齢者が認知症になると言われている。



認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは認知症を正しく理解し、認知症のある人と家族を温かく見守る心援者である。サポーターのできる事としては、この講座を受けたサポーターカードを携帯する、困っている、迷っている人を見つけたら、見守る、声をかけるなど、包括支援センターか警察に連絡する「さがみはらメールマガジン」に登録するなどである。

次のテーマは、ボランティア活動から感じたこととして、傾聴活動の座談会は西本敬理事、荒谷進会員、金井みどり会員、鈴木峰世会員により行われ、相手が笑ってくれたり、待っていてくれたりすると嬉しい、長く続けられるように頑張りたいなど意見があった。

□草間千寿子会員からハンディキャップ活動について、40年の歴史、運転手が少なく困っている、自分の心は役に立ちたい一心であるなど説明があった。

ハ、市社協中央ボランティアセンター坂口優子さんから、いるかバンクについて説明があり、さらに子供食堂、絵手紙、マーシャランなどについて説明があった。

最後に、実際活動へのご案内内として、部屋の後ろに傾聴ボランティア、HCボランティア、いるかバンクの説明および登録のコーナーを設けたが、ボフ協入会11名、いるかバンク入会5名と久しぶりにボランティアに対する関心が強かったのが多数の入会者を得た。

(高橋)



市内活動グループ訪問記



そがみはら若者サポートステーションの活動を取材しました！



相模原にも開花宣言が出された翌日、市民校まつりを一週間後に控えた3月31日(日) けやき会館2階会議室で、『そがみはら若者サポートステーション(若サポ)』の皆さんの様子を取材させていただきました。若サポさんには、ぼらんていあ通信の発送作業やほかほかふれあいフェスタでのボランティアなどで大変お世話になっています。

チーム絆さんのメンバーは特別支援学校現役生や卒業生、保護者の皆さんです。それぞれ病気や障がいがありますが皆一歩の踊りを完成させたいという思いから始めたダンスです。

若サポさんは、働くことや自立に悩む若者のための支援機関です。「自分づくり」と「仕事探し」を応援している。仲間と出会う喜びや学びを通じて、自分の生き方、働き方を見つけていくのをサポートしています。

ボランティア協会は6つの委員会を設置してさまざまな活動を行っています。その中の一つ『映像企画実行委員会』は協会活動やボランティア仲間の紹介、市内の活動団体の紹介動画などを広く市民の皆様にお知らせするため、オリジナルの動画制作活動を行っています。今回はチーム絆さんの活動を若サポさんと協働で映像化



っています。

当日は若サポさんから3名、ボラ協からは4名で伺いました。絆さんのメンバーは指導者も含め12名で、皆さん本番ながらの衣装で、赤い鳴子扇を持っています。男性はウイंक顔のお茶目なひょっこ顔のお面をつけています。音楽のリズムに合わせて練習が始まり、リズムカルに体を動かします。会議室は十分なスペースはとれず、様子を撮影する人は、踊り手の動きのじやまをしないように場所を考えてカメラを構えています。カメラを、頭上から、胸の位置から、床に設置したりと色々な角度から撮影していました。たえず胸よりの位置でカメラを操作し続けるのはとても大変そう。たまに手をぶらぶら動かす様子も見られました。休憩中も撮影を続けています。カメラが回っている間も動揺することなく心に踊り続ける絆さんのメンバーの集中力が凄かったです。リズムカルな音楽と動きを見ているとこちらも熱気が移ったのか汗を拭く場面も。



こちらも熱気が移ったのか汗を拭く場面も。

練習後、絆さんの代表 佐藤さんや坂場さん、熊田さんに取材が入ることについてメンバーの皆さんの様子はいかがでしたかとお話を伺って、「前もってきちんと説明すれば大丈夫です。子供達は変化も大好きで楽しんでます。難しい振り付けはハードルが高いので、子供たちに合わせた振り付けにしています。」との声。

若サポの皆さんに感想と苦労についてお聞きしました。スタッフの清水さんは「前回と同様、皆さんがとっても楽しそうに踊っているのが素敵で元気をいただきました。今年の桜まつりでは満開の桜のもと、皆さんの演舞が見られるのが楽しみです。印象に残る画像が撮ればいいなと思う。素人なのでここまで絆さんの姿が撮れたかなと思います」。利用者さんの村田さんは「スマホで動画を撮るのは慣れていなく、前回は画面が暗くなってしまったが、調べて今回は上手く撮れるようになったかな。皆さん楽しそうに踊っているから、ちゃんと撮ってあげたいと思った。撮影中は力が入って腕がガチガチになったり指が痛かったりしたが大丈夫です。また利用者の山下さんは「前回も今回も非常に楽しそうに一生懸命踊っている姿を撮りたいと思ったが、実際に撮ってみると思うように撮れていなく難しいと思った」。

\*\*\* 後日談 \*\*\*  
桜まつりの当日

若サポさんの3人の方からは、絆さんの一生懸命な頑張り、楽しむ姿を伝えられるように撮影する姿に熱意を感じた。終了後、3人とも「すごく良かった。感動しました」と感激していました。絆さん、若サポさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。(高橋・小山)



\*完成した動画は協会HPにアップします。ご覧になってください(映像企画実行委員会より)。

4月13日(土) 定例理事会(理事5名)



1、報告事項

〈広報委員会〉

・ぼら通4月号は23日に印刷・発送予定で、会員には総会議案書も同封する。

〈情報部会〉

・春講座の様子をFacebookやインスタにアップした。

〈ハンディキャップ委員会&事務局委員会〉

・ハンディキャップ運転者研修会開催のシナリオや桜まつりでのパレード&バザーの段取りの確認を行った。

・ハンディキャップ新規入会希望者の対応について話し合った。

〈講座検討委員会〉

・春講座の反省で、2024年度開催予定の講座検討。

〈映像企画実行委員会〉

・若サポさんと協働でよさこいチーム絆さんの動画を撮影中。

〈傾聴委員会〉

・春講座終了後に11名の登録があり、5月21日(火)に新入会員との懇談会を開催する。

〈その他〉

・当協会も団体会員として参加している相模原震災ボランティアネットワーク(SSKN)について説明があった。

2、審議事項

・ボウリング大会開催に向けての準備確認をした。

・通常総会に向け段取り確認をした。

臨時理事会 4月20日(土) 10時から  
理事会 5月18日(土) 総会終了後

相模原ボランティア協会 5月の予定

日	時間	内容
8(水)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
11(土)	13:00~	ハンディキャップ・事務局合同委員会
18(土)	14:00~	通常総会
	総会後	定例理事会
21(火)	13:00~	傾聴懇談会
24(金)	14:00~	講座検討委員会
28(火)	10:30~	ぼら通5月号印刷
	13:30~	ぼら通5月号発行

5月の記念日は？

小倉義男

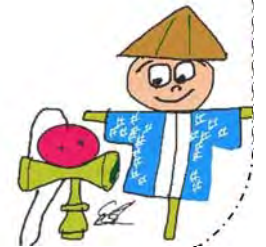
5月14日は、けん玉の日です。

長野県松本市の一般社団法人グローバルけん玉ネットワークが制定。「けん玉で世界をつなぐ」を合言葉に、けん玉を国際的に普及させるのが目的。日付は現代のけん玉の原型となる「日月ボール」を広島県呉市の江草濱次氏えくさ はまじが考案、実用新案登録されたのが1919年(大正8年)5月14日であることから。グローバルけん玉ネットワークでは「けん玉ワールドカップ」の開催、けん玉のプロデュース、オンラインショップでの販売などを手がけている。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

紅白歌合戦でも、けん玉やってみました。ね。(^^)

小倉画



お知らせ

通常総会のご案内

2024年度の通常総会を次の通り開催します。正会員の皆様には開催通知と議案書をお届けします。

「出席いただきますようお願いいたします。」

日時 5月18日(土)午後2時~4時

会場 あじさい会館6階ボランティア活動室

議事 ①事業報告 ②会計報告

③役員選出 ④事業計画案

⑤予算案

※年に一度の大切な総会です。

ぜひご出席ください。

理事一同

大募集

ほかほかふれあいフェスタ2024

運営・企画への参加者を募集しています！

障害のある人も障がいのない人も、お互いに交流することにより理解を深め、「共に生きる」まち造りを目指す「ほかほかふれあいフェスタ」です。

今年は10月12日(土)開催の予定で準備を始めました。実行委員会では新しい運営・企画の参加者を募集しています。興味のある方はぜひご連絡ください。

連絡先 あじさい連絡所042-759-7982

事務局担当・小野



ハンディキャブ運転者研修会に参加して



去る3月21日(木)ハンディキャブ運転者研修会の20日目に参加した。今回の研修会は多くの参加者がいるので今回は分けとちからか都合の良い日を前もって選んでいたが、開催になりました。1回目は3月16日(土)午後1時半よりあじろいこ会館3階研修室にて17名の参加、運転者は11名、事務局員は6名でした。2回目は3月21日(木)午後1時半より市民会館4階第2会議室で運転者11名、事務局員4名の計15名でした。



堀事務局員(左)と小野事務局員(頭だけすみません)

この日も参加された熱心な方もいらしたので、研修の内容は前回と同じ内容でした。まずお茶の挨拶の1回目は加藤委員、2回目は小野事務局員が、堀事務局員のお話を、進行で始めました。配布物の確認、小野事務局員より運行に関する変更事項、杉崎事務局員より、資料に沿って(スライド)ハンディキャブ運行手順について説明があり、(11号車、12号車、セタンなど)それぞれ手順が違っている)後、お茶の挨拶を済ましたのでこのころでした。

小川(美)事務局員からは事務局から運行日誌の記入の仕方、運行処理の方法等のお話がありました。

以上で研修会は終わりました。夫々の事務局員の方まで準備お疲れさまでした。

休憩をはきこんで懇談会となりました。先ずは自己紹介(簡単に趣味など一言)といことでしたが、それはいかず、終わるとフリートーク、堀さんから「16日の回は1号車の買い替え、指示書のない運行の対処は?」などが話題に上がりました。報告がありました。意外なことに運転者さんの中には事務局の基本的な事を知らない方も居られ改めて小野事務局員から説明を受けていただきました(例えば事務局の場所時間など)。

待ち時間の長い場合の過ごし方については皆さんそれぞれ工夫をなっていました。一度帰ると出直す方、近くの無料駐車場へ待つ方、公園や図書館などで時間をつぶす方、買い物をして時間をつぶす方もおられました。セタンの方は自宅に戻る時には距離を計算はしていないそうです(知りませんでした)。

利用者さんとの接し方は皆さん良い方法を考えています。利用者の中には上から目線で「オイ、コソ」といった威圧的な態度の方もおられる、そんな方にはイラッとはせず、「何かあったのですか?」などといった話を聞いてみることで態度が変わって、今では友達のような付き合いになっています。また短い時間ですが利用者さんとの話は楽しい、と皆さんすっかり傾聴なさっていました。



ハンディキャブ運転者さんと事務局員さんか勢ぞろい!!

さがみはら若者サポートステーションの利用者さんであるペンネーム「くれはな」さんのイラストです。キャラクターもカラーも、オリジナルに溢れたすごく可愛いイラストです。カラー版を協会HPで、ぜひご覧になってください!  
\*HP トップから  
情報発信→ほらんていあ通信→ほらんていあ通信  
509号をクリックしてくださいね。



いきました。  
あおり運転があったこと、横からの飛び出しやリソットしたこと、渋滞にあったこと、地震など予期せぬ出来事があった時の対応の仕方、などいろいろな事に遭遇した時も、まずは安全第一に運行している。実際に運転なさっているからいその気付き、事務局に持って帰り検討しなければならぬことが多々あります。  
まだ話したりない所でしたが、続きは又の機会に伺いの堀さんが有無も言わせませんと聞きました。その後希望者だけで、場所を駐車場に変えて12号車の取り扱い、車いすの装着など実際に車を使って先輩の運転者さんに教えてもらいました。  
この度は研修会ということもあり、また2日に分けて行ったことで運転者さん2名のみ欠席と好成绩でした。事務局の皆さんお疲れ様でした。(石関)

# ボランティアさん募集！

## ① 学習支援の場における小・中学生の学習や遊びの見守り

依頼先：学習支援の場「みんなのいばしょ ポプケ」（中央区相生 2-3-39）

内容：小・中学生の学習や遊びの見守り

日時：学習の見守り…毎週水曜日の午後 4 時～5 時 30 分

遊びの見守り…毎週月曜日か木曜日の午後 2 時 30 分～5 時 30 分

※子どもの支援に興味のある方、ぜひご参加ください！



## ② 高齢者福祉施設における利用者の将棋のお相手

依頼先：「ツクイ相模原矢部デイサービス」（中央区矢部 2-6-5）

内容：利用者さんと一緒に将棋を楽しんでくださるボランティアを募集

日時：曜日・時間や頻度についてご希望を伺った上で、依頼者と相談します。

※将棋の腕前や段位等は問いませんので、まずは気軽にお申込みください！



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



なお

山口尚美画

《今月のイラスト》

…たまには手洗い、

心もセンター〜《

会員登録のお願い（再掲）  
今年度の会員登録が4月1日から始まり  
ました。引き続き会員登録の更新をよ  
ろしくお願いいたします。  
あじさい連絡所または郵便振込で更新  
手続きが出来ます。  
ご住所等、登録内容に変更のある方は  
併せてご連絡ください。  
事務局

事務局

## ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に  
使わせていただきます。

<3月の寄付者>

佐藤一春様他21名の方からご寄付をいただきま  
した。

<3月の寄付金>

総額 64,880円でした。



## 編集後記

夕べ（17日夜）テレビを見ていた  
ら、緊急地震速報のすぐ後、11時14  
分に豊後水道でマグニチュード6.6  
震度6弱の地震が発生というニュ  
ースが出た。そこで長周期地震動  
「階級1」と「階級2」を観測とい  
う聞き慣れない言葉が耳に入った。  
1996年、今の震度の表示方に  
なつて以降、6弱という大きな地震  
は始めてのことだった。愛媛県  
や高知県では相当な被害が出るだ  
ろう。心配だ。  
(山)